科目名	授業形式	必須・選択
コミュニケーション I ・ II (コミュニケーション)	講義・実習	必須
学科/学年	時間数	担当教員
ITエンジニア学科/1・2年	各年68時間	発句アミヌル

現在、グローバル化により、私たちのコミュニケーションは大きく変容してきている。これからは、外国 人とのコミュニケーションが求めらる時代になる。そんな中で、文化の違いやお互いの意見を尊重しなが らも、自分の意見を伝える必要がある。本科目では、コミュニケーションの基本を理解しつつ、活かし方

- ・自分の意見を伝える種類を理解する
- ・異なる文化を持った人とのコミュニケーションの特徴を理解する

	テーマ				
1	コミュニケーションとは	13			
2	コミュニケーションの種類	14			
3	異文化の理解	15			
4	アイデンティティーの重要性	16			
5	アイデンティティーの共有	17			
6	プレゼンテーション	18			
7	チームビルディング	19			
8	ケーススタディ	20			
9		21			
10		22			
11		23			
12		24			
	(参考)教材		評価基準	評価率	
	オリジナルテキスト		出席評価	3 0 % 7 0 %	

科目名	授業形式	必須・選択
ビジネスマナーI・Ⅱ	講義・実習	必須
学科/学年	時間数	担当教員
ITエンジニア学科/1・2年	各年136時間	有田俊彰

IT企業では、複数のメンバーでWebアプリケーションを開発する。その際、各自の役割への理解度や、共有事項等の報連相がチーム開発では非常に大切になる。本科目では、3~4名でのチームを作成し、フリーテーマでコンソールアプリケーションを開発を通して、チーム開発への理解を学ぶ。

- ・社会人になるための心構えを持ち、基礎的なビジネススキルを身に着け、主体的に動けるようになる
- ・タスクを期限内に行うことを徹底し、難しければ相談して調整できるようになる

	テーマ				
1	チーム開発での役割	13			
2	チーム開発での情報共有	14			
3	チーム開発	15			
4	成果物発表	16			
5	以後、3・4を繰り返す	17			
6		18			
7		19			
8		20			
9		21			
10		22			
11		23			
12		24			
	(参考)教材		評価基準	評価率	
	オリジナルテキスト		出席評価	3 0 % 7 0 %	

科目名	授業形式	必須・選択
ビジネスPC	講義・実習	必須
学科/学年	時間数	担当教員
ITエンジニア学科/1・2年	1年 102時間	三浦辰也
ロエンノーナ子科/1・2十	2年 34時間	企業等からの講師派遣

個人でWebアプリケーションを作成する。各々が自由にテーマを策定することとし、データベース設計からクラス設計までを一人でこなす。同時にスケジュールやタスク管理の基礎を学ぶ。また開発終了後は、成果物発表を行う。

- ・Webアプリケーションのテーマ策定から実装までを一人で行うことができる
- ・スケジュールやタスク管理を行うことができる
- ・問題が発生した場合、自分でトラブルシューティングができる

* 可越刀	・向越が発生した場合、自分でトフノルンューティングができる				
	テーマ				
1	テーマ策定	13			
2	スケジュール・タスク管理	14			
3	データベース設計	15			
4	クラス設計	16			
5	コーディング	17			
6	成果物発表	18			
7		19			
8		20			
9		21			
10		22			
11		23			
12		24			
	(参考)教材		評価基準	評価率	
	オリジナルテキスト		出席評価	3 0 % 7 0 %	
	オリジナルテキスト				

科目名	授業形式	必須・選択	
外国語 ・	講義	必須	
※日本語の場合		<i>必</i> 須	
学科/学年	時間数	担当教員	
ITエンジニア学科/1・2年	1年 136時間	丸山まどか	
ロエンシーナチ科ノエ・2十	2年 136時間	λιμ τ С η,	

日本での就職活動や、日本での生活に対応できる日本語の能力を身につける。日本語能力試験など資格試験対策はもちろん、日本語で意見・考えが伝えられるようコミュニケーション能力や作文能力も身につけ させる

科目の到達目標

・日本語能力試験(JLPT)N2に合格

	テーマ				
1	言語知識(文字語彙・文法)	13			
2	読解	14			
3	聴解・聴読解	15			
4	作文	16			
5	スピーチ・発表	17			
6		18			
7		19			
8		20			
9		21			
10		22			
11		23			
12		24			
	(参考)教材		評価基準	評価率	
	で子はり 中級中期 ごんつながる漢字練習帳 中級		出席評価 平常点	3 0 % 2 0 %	
・「日本語パワードリル」など日本語能力試験対策テキスト		+	定期試験	5 0 %	

科目名	授業形式	必須・選択
キャリア形成	講義・実習	必須
学科/学年	時間数	担当教員
ITエンジニア学科/1・2年	各年68時間	三浦辰也
コープシーティー コ・2十	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	企業等からの講師派遣

各年の集大成として、チームワークによるシステム開発を行い、ITエンジニアのキャリアを経験する。開発工程の要件定義・設計・製造・テスト・リリースまでを体験し、各工程で必要となる成果物(設計書など)を理解する。開発終了後は、成果物発表会を行う。

- ・チームによる大規模開発を体験する
- ・開発工程の上流工程から下流工程までを経験し、各工程の成果物を理解する
- ・GitやWBS/ガントチャートによるタスク管理の手法を理解する

· GIL'\	・GIT~WBS/ ガントテヤートによるメスク官座の手法を理解する					
	テーマ					
1	UML	13				
2	詳細設計書	14				
3	コーディング	15				
4	検査項目書	16				
5	検査実施	17				
6	WBS・ガントチャート	18				
7	Git	19				
8		20				
9		21				
10		22				
11		23				
12		24				
	(参考) 教材		評価基準	評価率		
	オリジナルテキスト		出席評価	3 0 % 7 0 %		

科目名	授業形式	必須・選択
プログラミング言語丨	講義・実習	必須
学科/学年	時間数	担当教員
ITエンジニア学科 / 1 年	136時間	三浦辰也
コエンノーナチャインエキ	1 2 0 时间	企業等からの講師派遣

プログラムの概要と仕組み、開発環境の構築方法を知る。プログラミング言語Javaを使い、プログラミングの制御構造である「順次処理/条件分岐/繰り返し」を理解する。また応用として近年のプログラミング言語の主流である「オブジェクト指向」において、オブジェクトの関連性や相互作用を学習する。

- ・一人で開発環境を構築し、プログラムの作成から実行までを行うことができる
- ・基本制御構造を理解し、最適なアルゴリズムで課題を解決できる
- ・オブジェクト指向のメリットと使いどころを理解し、適切にクラス設計ができる

・オブジェクト指向のメリットと使いどころを理解し、適切にクラス設計ができる 				
テーマ				
1	プログラミング基礎	13	継承	
2	開発環境構築	14	インターフェイス・抽象クラス	
3	変数	15	パッケージ	
4	式・演算子	16	例外	
5	条件分岐	17	ファイル入出力基礎	
6	繰り返し	18	スレッド	
7	配列	19		
8	オブジェクト指向概論	20		
9	クラス基礎丨	21		
10	クラス基礎Ⅱ	22		
11	クラスライブラリの利用	23		
12	コレクションフレームワーク	24		
	(参考)教材		評価基準	評価率
	しいJava (SBクリエイティブ) しいオブジェクト指向(SBクリエイティブ)		出席評価	3 0 % 7 0 %

科目名	授業形式 必須・選択		
WebデザインI	講義・実習 必須		
学科/学年	時間数	担当教員	
ITエンジニア学科 / 1 年	136時間	三浦辰也	
ロエンノーナチ科ノエキ	I 2 0 时间	企業等からの講師派遣	

Webアプリケーションにおけるフロントサイド(ユーザーインターフェイス)の技術である HTML/CSS/Javascriptを学習する。またそれらを補完する技術としてBootstrapやjQueryなどのオープン ソースライブラリも積極的に活用する。

- ・一人で開発環境を構築し、静的なWebサイトを制作することができる
- ・トレンドにあったデザインを選択し、最適なユーザーインターフェイスを実現できる
- ┣・JavascriptやjQueryを使い、動的でリッチなWebサイトを制作することができる

・JavascriptやjQueryを使い、動的でリッチなWebサイトを制作することができる					
テーマ					
1	開発環境構築	1	3		
2	HTML	1	4		
3	CSS	1	5		
4	Bootstrap	1	6		
5	JavaScript	1	7		
6	jQuery	1	8		
7	WebAPI	1	9		
8	自己紹介ページ制作	2	0		
9	成果物発表	2	1		
10		2	2		
11		2	3		
12		2	4		
	(参考) 教材			評価基準	評価率
・スラスラわかるHTML&CSSのきほん(SBクリエイティブ) ・いちばんやさしいJavaScriptの教本 (インプレス)		")		出席評価	3 0 % 7 0 %

科目名	授業形式 必須・選択		
データベース	講義・実習 必須		
学科/学年	時間数	担当教員	
ITエンジニア学科/1年	136時間	三浦辰也 企業等からの講師派遣	

近代システムにおいて必須ミドルウェアであるRDBMS(リレーショナルデータベースシステム)および SQLを学習する。RDBMSには、PostgresqlおよびSQLiteを採用する。基本的なCRUD操作から、エンティティの抽出・テーブル設計・ER図までを学ぶ。

- ・SQLでSELECT/INSERT/UPDATE/DELETEを使いこなすことができる
- ・対象システムにおいて、エンティティの抽出/カラムの定義/正規化ができる
- ・ ER図の読み方と作成方法を理解している

・ER図の読み方と作成方法を理解している					
テーマ					
1	RDMS環境構築	13	3		
2	SELECT	14	4		
3	WHERE	1!	5		
4	GROUP BY / HAVING	16	6		
5	INNER / OUTER JOIN	1	7		
6	DDL	18	8		
7	テーブル設計	19	9		
8	ER図	20	О		
9	JDBC	23	1		
10		22	2		
11		23	3		
12		24	4		
(参考)教材				評価基準	評価率
・SQL書き方ドリル(技術評論社)				出席評価	3 0 % 7 0 %

科目名	授業形式	必須・選択		
システム開発プロジェクトー	講義・実習	必須		
学科/学年	時間数	担当教員		
ITエンジニア学科 / 1 年	6 8 時間	三浦辰也		
ロエンノーナ子付/ 1十	0.0 时间	企業等からの講師派遣		

市場ニーズの最も高いWebアプリケーションの開発手法を学ぶ。Java、HTML/CSS/Js、SQLを使用し、フ ロントサイドからサーバーサイドまでの開発を行う。フレームワークを使用せずに、Servlet+JSPでゼロか らコーディングする。またMVCアーキテクチャによる最適な設計方法を学習する。

- ・基本的なCRUD機能を持つWebアプリケーションの開発手法を理解する
- ・MVCアーキテクチャによる最適なクラス設計ができる

・フロントサイドからサーバーサイドまでの技術を身に着ける					
テーマ					
1	サーバー構築	13			
2	НТТР	14			
3	サーブレット	15			
4	JSP	16			
5	セッション・ログイン・カート	17			
6	MVCモデル	18			
7	Webとデータベース	19			
8		20			
9		21			
10		22			
11		23			
12		24			
(参考)教材			評価基準	評価率	
・やさし	しいJava活用編 (SBクリエイティブ)		出席評価	3 0 % 7 0 %	